

# 福島原発事故に関する資料請求書

原子力災害対策本部長 殿

原子力安全委員長 殿

原子力安全・保安院長 殿

2011年4月19日

衆議院議員

(氏名)石田三示、稲見哲男、服部良一、山崎 誠

参議院議員

(氏名)川田龍平、平山 誠

福島第一原子力発電所事故の現状に関する資料の提出を求める。

1. 海外への提供情報について。

- ・ これまでに IAEA などの国際機関や米国その他の他国に提供した全データ

2. 原子力発電所の現状について。各号機ごとに、温度、圧力、水位など可能なものは事故発生  
当時から現在までの時系列データを提出されたい。

(1) 原子炉圧力容器について

- ・ 容器内部および外部表面温度、圧力、ならびに水位
- ・ 圧力容器の漏えい率(推定値でも可)

(2) 格納容器について

- ・ 容器内部および外部表面温度、圧力
- ・ 格納容器の漏えい率(推定値でも可)

(3) 核燃料について

- ・ 溶融の割合(およそ何%の燃料が溶融しているか)
- ・ 上記のように推定した根拠と参考文献

(4) 原子炉圧力容器内における再臨界について

- ・発生の有無、可能性について
- ・上記のように推定した根拠と参考文献
- (5) 使用済燃料貯蔵プールについて
  - ・貯蔵プールの健全性
  - ・温度ならびに水位(1～6号機の他に共用プールを含む)
- (6) 汚染水について
  - ・原子炉建屋・補助建屋・タービン建屋、トレンチ等個所別の汚染水の量と放射能濃度
  - ・海中に放出された低濃度および高濃度の汚染水の濃度と放出量
  - ・放水された汚染水への対応および今後の汚染水の処理方法

### 3. 放出放射能について。

- (1) これまでに原発敷地外に放出された放射能の総量および核種ごとの量、検出場所(粗い推定値であっても必ず一定の数値を出すこと、特にプルサーマル炉である3号機他炉との違いについて、ストロンチウム90や未公表のナトリウム24などのデータ、日にちごとの推移)
- (2) 中性子検出器は压力容器や格納容器内に存在するのか
- (3) これまでの空間、地表、海水別の線量マップ(SPEEDIによる未公表のシミュレーション結果や米国から提供された無人航空機を使用して計測したデータを含む)
- (4) 作業員の被曝状況
- (5) 作業人数、会社名および会社数、賃金の額、リクルート方法
- (6) 農産物、土壌、雑草類、海産物、海藻、海水等の汚染状況
- (7) ヨウ素剤の配布状況(現状と今後の計画)

### 4. 事故拡大の防止対策について

- (1) 放射性物質の回収にあたって、六ヶ所再処理工場にある浄化設備・タンク類、建設中の原発用の資機材等を投入する意志はあるか
- (2) 東芝や日立等の技術者に「どんな斬新な発想でも良いから放射性物質の回収と炉底の破壊防止をせよ」とのテーマで対策を募る意志はあるか

なお、上記の資料は、4月25日(月)までに提出されたい。